



ほつニュース

2019年3月11日

No.72

上山高原エコミュージアムの“ほつ”なニュースをお届けします。

◆いよいよ春本番!

今年は、春が早く訪れました。積雪が少なく、この地域ならではの「かまくらまつり」は中止としましたが「海上のかんじきハイキング」は、木々に新雪が舞い、澄み切った雪景色を楽しむことができました。海上の「いっぷく亭」で休憩し「尾の谷滝・茂平谷滝」で記念撮影、都市部から親子連れの参加者を交え地元の協力で、かんじきや かき餅の食体験をしました。



いよいよ春本番! 卒業式、入学式、村の総会、「井出し」など、気ぜわしくなりませんが、みなさん頑張って地域を盛り上げて下さい。『上山エコの活動2019年度も活性化に向けて頑張ります!』プログラムを裏面に記載しております。皆様のご参加をお待ちしております。4月には『山開き・山焼き』を開催します。「動植物の多様性のある上山高原」に是非おこし下さい。(秋に「茅投げ全国大会」「上山検定ゲーム」を計画中!)

視察研修

2月23日・24日に視察研修を行いました。奈良県曽爾村役場を訪れ「曽爾高原の活用(山焼き・ススキ草原)」「特産品づくり」「自然の活用事例」などを研修しました。草原で35畝の山焼き、特産品は「柚子の加工品、米焼酎、地ビール、こんにゃく」また「高級メダカの販売」「メダカ街道」など、地域の活性化活動を研修しました。



(米焼酎作り)

曽爾村は693世帯、人口1461人の村ですが、観光客50万人も訪れています。行政のリーダーシップで、地域と一体感のある取り組みを学びました。周辺には飛鳥京など、貴重な遺跡や博物館などが点在し、これらとの連携もあるようです。とても良い研修となりました。

モニタリング報告会

3月9日(土)平成30年度、一年間の調査研究の報告会を開催しました。



上山高原一帯の植生状況、希少動植物などの生息調査など(草原の再生状況、草原指数の動向、希少植物の報告、動物の棲息調査(イヌワシ、チョウ、ノウサギ他)特に、絶滅危惧種の「イヌワシ」のツガイの確認報告や草原性植物の生育状況には、生物の多様性ある自然を維持するため、山焼きや灌木伐採、ササ刈りなどで持続していく重要性を感じました。



上山高原山開き・山焼き

- ◆日時 4月20日(土) ※申込締切4月12日(金)まで
- ◆集合 上山高原 午前9時までに集合
または、ふるさと館。午前8時30分
- ◆参加料 大人1500円 小学生以下1000円(昼食付)
- ◆内容・山焼き作業・自然観察・残雪ソリ大会(参加費別)
- ◆服装等 山歩きの服装、(火に強い服装・防寒着等)
- ◆その他・天候等では内容の変更あり。詳細は問合せ下さい。



(昨年(2018年)の山焼きの様子)



特定非営利活動法人 上山高原エコミュージアム

事務局 上山高原ふるさと館内〒669-6953兵庫県美方郡新温泉町石橋757-1

TEL(0796)99-4600 FAX(0796)99-4601 E-mail:ueyama-eco@yumenet.tv

